

科目名 (英)	栄養学 (Nutritional Science)	必修 選択	必修	年次	1		
学科・コース	製菓本科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	通年 前期
【授業の学習内容】 栄養素の種類と生理機能、代謝について学び、健康の維持・増進や疾病予防における食事からの栄養素摂取の重要性を理解する。 単元ごとに小テストを行い、理解を深めるようにする。 ※実務経験：三田市地域活動栄養士会に所属し、保健所や保健センターでの栄養指導に携わる。現在、内科医院にて栄養指導業務を行う。							
【到達目標】 栄養学の基礎的な知識(食品中の栄養素の種類とその機能)を習得し、その知識を自ら考え、表現し、行動できるようにして、実社会において役立つことを目標にする。 製菓衛生師資格の取得を目的とする。							

授業計画・内容	
1回目	栄養学の概要について学ぶ。栄養素の分類、基礎食品、食事バランスガイドについて説明ができる
2回目	食事バランスガイドの演習をする。栄養素の機能(たんぱく質)を説明ができる
3回目	栄養素の働き(たんぱく質・脂質)を説明できる
4回目	栄養素の働き(脂質)を説明できる
5回目	栄養素の働き(炭水化物)を説明できる
6回目	栄養素の働き(炭水化物)を説明できる
7回目	栄養素の働き(無機質)を説明できる
8回目	栄養素の働き(無機質)を説明できる
9回目	栄養素の機能(無機質)について表にまとめ理解を深める
10回目	栄養素の機能(無機質)について表にまとめ理解を深める
11回目	栄養素の機能(水)を学ぶ。栄養の摂取(栄養成分表示)について説明できる
12回目	栄養の摂取(保健機能食品制度)について説明できる
13回目	前期に学んだことを振り返り、理解を深める
14回目	前期に学んだことを振り返り、理解を深める
15回目	前期に学んだことを振り返り、理解を深める
準備学習 時間外学習	製菓衛生師全書、製菓衛生師教本で予習、復習を行う事が大切です。
評価方法	試験点100点満点で評価する。
【使用教科書・教材・参考書】 製菓衛生師教本 下：(一社)全国製菓衛生師養成施設協会 製菓衛生師 全書：日本菓子教育センター	

科目名 (英)	栄養学 (Nutritional Science)	必修 選択	必修	年次	1		
学科・コース	製菓本科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	通年 後期
【授業の学習内容】 ・飲食物によって起こる病気などの危害を発生させないように予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与するため、食中毒、食品添加物、食品の腐敗、食品の取り扱いなどを学びます。 単元ごとに小テストを行い、理解を深めるようにする。 ※実務経験：三田市地域活動栄養士会に所属し、保健所や保健センターでの栄養指導に携わる。現在、内科医院にて栄養指導業務を行う。							
【到達目標】 栄養学の基礎的な知識(食品中の栄養素の種類とその機能)を習得し、その知識を自ら考え、表現し、行動できるようにして、実社会において役立てることを目標にする。 過去問題を中心に繰り返し学習することにより、製菓衛生師資格の取得を目的とする。							

授業計画・内容	
1回目	栄養の消化と吸収：食物の消化(大腸)について説明できる
2回目	栄養の消化と吸収：食物の消化(栄養素の代謝)について説明できる
3回目	栄養の消化と吸収：食物の消化(栄養素の代謝)について説明できる
4回目	栄養の消化と吸収：消化吸収率について説明できる
5回目	栄養の消化と吸収：栄養の摂取(エネルギー代謝・エネルギー所要量)について説明できる
6回目	栄養素の機能：ホルモンとその機能について説明できる
7回目	栄養の摂取：(食事摂取基準/生活消費量)について説明できる
8回目	栄養の摂取：国民健康・栄養調査について説明できる
9回目	栄養の摂取：年代別栄養(妊婦・乳児期・幼児期)について説明できる
10回目	栄養の摂取：年代別栄養(学童期・成人期・老年期)について説明できる
11回目	栄養の摂取：食生活と疾病(高血圧・高脂血症)について説明できる
12回目	栄養の摂取：食生活と疾病(糖尿病)について説明できる
13回目	栄養の摂取：食生活と疾病(骨粗鬆症)について説明できる
14回目	栄養の摂取：食生活と疾病(心臓病・肝臓病・腎臓病)について説明できる
15回目	栄養の摂取：栄養成分表示について説明できる
準備学習 時間外学習	製菓衛生師全書、製菓衛生師教本で予習、復習を行う事が大切です。
評価方法	試験点100点満点で評価する。
【使用教科書・教材・参考書】 製菓衛生師教本 下：(一社)全国製菓衛生師養成施設協会 製菓衛生師 全書：日本菓子教育センター	